

## 平成28年度 第2回木更津市生涯学習推進協議会 議事録

- 1 日 時 平成29年3月28日（火）午後2時00分～3時10分
- 2 会 場 木更津市役所朝日庁舎 多目的室B
- 3 出席者 委 員：前野一夫会長、桂啓之副会長、古藤田憲之委員、大河原敏雄委員  
橋詰 清委員、平野正善委員、江口かほる委員、安藤順子委員  
（8名）  
事務局：高澤茂夫教育長、齊藤良二教育部次長、秋元淳生涯学習課長、  
露寄和弘副主幹、鈴木和代主査、秋川裕也事務員（6名）

### 4 次第

#### 1 開 会

- ・木更津市生涯学習推進協議会会長あいさつ
- ・木更津市教育委員会教育部長あいさつ

#### 2 協議事項・報告事項

- (1) 平成28年度木更津市生涯学習事業について
  - ・市民公開講座
  - ・生涯学習フェスティバル
  - ・生涯学習バス「まなび」
- (2) 生涯学習基本構想・計画の策定方針等について
- (3) その他

### 5 配布資料

- ・会議次第
- ・第42回少年少女の主張作文集
- ・公民館研究集会記録集

### 6 会議の概要

(進行)

ただ今より、木更津市生涯学習推進協議会第2回定例会を開催いたします。委員12名中、8名の出席であり、欠席は4名であります。会議の成立要件については、生涯学習推進協議会設置要綱に特に規定はありませんが、委員の2分の1以上の出席となっております。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されております。本日の傍聴人はおりません。以上報告させていただきます。

それでは最初に前野会長よりごあいさつをいただきたいと思います。

(前野会長)

本日は、平成28年度第2回木更津市生涯学習推進協議会にご出席いただきありがとうございます。木更津市の生涯学習ということですが、高齢化社会に向けて、ますます生涯学習の役割というものが増えてくるかと思えます。これから毎年毎年の積み重ねで将来展望が開けてくるかと思えますので、ぜひ活発なご審議をお願いいたします。

(進行)

ありがとうございます。続きまして、高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

(高澤教育長)

皆さんこんにちは。早いもので3月も残り少なくなりましたが、生涯学習フェスティバル、市民公開講座、成人式など、平成28年度の生涯学習関係行事もお陰様でほぼ終わろうとしています。皆さんのご協力に心から感謝申し上げます。

この協議会は年間2回と大変少ないのですが、本市の生涯学習の推進にあたり広く市民の皆様からご意見や要望等を取り入れて今後の生涯学習の推進に資するというのが大きな目的ですのでぜひ忌憚のないご意見をいただき、29年度の施策に活かしていければと考えています。平成29年度は皆様も委嘱の2年目となりますので、引き続きご支援をいただければ有難く存じます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

(進行)

ありがとうございました。それでは協議に入ります。

今後の議事進行については、生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長にお願いいたします。

(前野会長)

これより進行を務めさせていただきます。

議題(1)「平成28年度木更津市生涯学習事業について」の協議であります。事務局より事業の概要についてご報告いただいた後に、質疑応答、協議を行いたいと存じます。それでは、生涯学習市民公開講座、生涯学習フェスティバル、生涯学習バスの各事業について、ご説明をお願いいたします。

#### － 生涯学習関係事業について説明 －

(前野会長)

ただ今の説明につきまして、委員の皆様からのご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(桂副会長)

生涯学習フェスティバルの参加団体が増えたということですが、会場が手狭ということはないですか。今後の市民会館を使うことの問題点を考えていかなければならないかと思いますが、いかがですか。

(鈴木主査)

混み合って困るということはなく、むしろ昨年度まで来場者数が伸びないことが課題でした。今年度は記念講演会の講師が著名だったので、来場者数は昨年度よりも増えています。市民体育館のスペースは手狭ではありませんが、ワンフロアですので、団体の配置など工夫が必要であることは反省会でも出されています。このことは来年度に向けての課題

です。

(桂副会長)

会場の問題は考えていけないと思います。

(平野委員)

市民公開講座ですが、1回あたりの出席率は6、7割とのことですが、当日参加も良いという周知はしないのですか。登録した人だけしか参加できず、しかもリピーターが多いというところが気になるのですが。もう少し気軽に参加できるようなシステムにできないかと思うのですが、いかがでしょうか。

(露寄副主幹)

市民公開講座については、実際には当日参加もありますが、当日参加もどうぞうという周知はしておりません。このことについては考えていきたいと思います。年齢層は高く、しかもリピーターが多いということはありません。若い方にきていただきたいということで、大学にはタイムリーなテーマでお願いしたいとお話はしています。

清和大学の学生も参加することもあります。今後、30代、40代が興味を持てるテーマ設定などについても要望していきたいと思います。

(橋詰委員)

今のお話はとても良いことだと思います。話題性がないと参加者はきません。テーマが絞り切れていない回があるように思います。第5回目の佐伯先生のアメリカ大統領選のテーマは良かったのでは。

(平野委員)

市民公開講座は全部の回に参加しなければいけない、という方針で実施しているということですね。

(露寄副主幹)

基本的には全部に来てください、ということです。

(平野委員)

私は、一つ一つで良いのではないかと思います。そうすると興味のあるもの、タイムリーなものに受講者が来るのではないのでしょうか。このシステムをずっと続けなくてはいけないのでしょうか。修了証書が欲しくて来ている人はほとんどいないと思うので。

この講座については、全部に参加するという募集の仕方は検討したほうがよいのではないかと思います。何年も続けているので、もうそろそろ見直してもいいのではないのでしょうか。もしくは、今のやりかたにプラスするということでも。

(露寄副主幹)

貴重なご意見として承ります。修了証書については清和大学のほうからそろそろやめて

もよいのではという意見が出たこともありますが、現場に立ち会っていますと、実際には出席回数にこだわっている受講生は多数いるように感じます。講演会というよりも大学の授業を受けているという意識の方も多いようです。1回1回の参加については検討していくことも必要かと思います。

(前野会長)

このことは清和大学さんのお考えもあるでしょうから。

(露寄副主幹)

委員からいただいたご意見も考慮して、検討してまいります。

(橋詰委員)

これはメールなどで市民に周知しているのですか。木更津市だけですか。

(露寄副主幹)

基本的には木更津市在住、在勤の方を対象としていますが、実際には市外の方もいらっしゃるのではないかと思います。周知は広報きさらづ6月号、公民館へのポスターの掲示、公民館だよりへの掲載、ホームページにも掲載しています。

(橋詰委員)

房総ファミリア新聞を利用する考えはありませんか。

(露寄副主幹)

検討いたします。

(平野委員)

市民公開講座は、高齢の方向けのテーマですが、中学生や高校生を対象にした講習会などは考えていませんか。前野会長が高専の先生ですから考えても良いのではないのでしょうか。技術系の学校は少ないので、単発でいいのでそういうことに興味を持つ子どもを増やしていくのは必要だと思います。4、5年生は十分子どもたちを指導できるレベルなので、学生をボランティアでお願いすることもできます。生涯学習としても良いのではないのでしょうか。これはお願いです。

(江口委員)

市民公開講座は女性の参加は多いのですか。

(露寄副主幹)

男性が70人、女性が52人です。

(江口委員)

私たち主婦が興味を持つような柔らかいテーマだと良いと思います。

(露寄副主幹)

テーマの最終決定は清和大学がするのですが、ご意見については要望していきたいと思っています。この講座は君津学園への委託事業ですから、基本的には清和大学、短期大学の先生の専門分野でテーマが決まります。

(古藤田委員)

大学の専門分野以外のものは基本的には難しいですね。

(前野会長)

高専も教育委員会と協定を結びましたので、委託事業もできると思います。一つの高専でカバーできない分野も他の高専からということもできます。スポーツ系、体育系の教員もおります。科学、工学、また文系の教員もおります。

(桂副会長)

平成7年度から開催していて、少しマンネリ化しているということもあるのですが、ずっと参加している人がいて、同じ人がアンケートに答えていると偏るので、もっと広い範囲でアンケートを取ってみるということは必要なかと思います。

(秋元課長)

今、高専との連携という話がありましたが、今年度4市青少年相談員の君津地区のついでイオンモールを会場にスタンプラリーと科学実験ショーという催しを行い、高専の高橋先生にご協力いただきました。4市の小学生を対象に100名以上が集まりました。

また、公民館でも高専と連携した事業を多く実施しています。

(安藤委員)

市民公開講座には興味があるものに単発でもよければ行きたいと思いました。

(橋詰委員)

毎回土曜日と決まっているのですか。

(露寄副主幹)

ここ数年、曜日、時間とも変わりがありません。時期も学校行事との兼ね合いもあり、同じ時期です。

(大河原委員)

少し話がずれるかもしれませんが、金田は子どもたちが限定した地域で小中学校ずっと一緒なので、子どもを地域の外に出していきたいと思っています。平日に子どもが高専に行く催しものとか公開講座的なことができればいいのかと考えました。

(前野会長)

高専独自では、夏休みにオープンキャンパスなどは開催していますが、市が主催ではな

いので、そのようなことがあっても面白いのではないかと思います。

(古藤田委員)

公開講座で資料の配布がないときがありますが、なにか理由がありますか。

(露寄副主幹)

特にありません。

(前野会長)

その他、ご質問・ご意見はありませんでしょうか。

次に議題（２）その他となっておりますが、事務局より何かございます

(鈴木主査)

特にありません。

(前野会長)

高専といたしましては清和大学とも協定を結ぼうとしています。生涯学習としての連携も可能かと思えます。

(前野会長)

その他、ご質問・ご意見はありませんでしょうか。無いようでしたら、これで終了させていただきます。

皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。ありがとうございました。

事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。

(進行)

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも本市の生涯学習活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。それでは平成28年度木更津市生涯学習課推進協議会第2回会議を終了いたします。

なお、平成29年度木更津市生涯学習推進協議会第1回会議につきましては7月頃を予定しておりますので、よろしくをお願いいたします。ありがとうございました。